

【ワークシート⑨】 第3段階ワークシート：WHERETOによって学習の流れを確認しましょう

どのような指導と学習経験の流れによって、子どもは、求められている理解に向けて取り組み、理解を深め、実地で示すことができるようになるのでしょうか？ これから行う単元計画、もしくはこれまでに行った単元の記録における、カギとなる指導と学習活動を順番にリストアップしてください。そのうえで、それぞれの項目に、WHERETOの要素に対応する適切なイニシャルを記号としてつけてください（WHERETOの順番通りに振られるとは限りません）。これによって、WHERETOの要素を意識しながら指導計画を立案しチェックするとともに、その流れを再認識できるでしょう。

W どこへ、そしてなぜ	H 関心をつかみ、維持する
E 探究・経験し、可能にし、用意させる	
R 振り返り、再考し、修正する	E2 作品と進歩を評価する
T 学習活動を調整し、個性化する	O 最善の効果をもたらすために組織する

例：単元「栄養」

- ・ 栄養が自分の生活に与える影響について、子どもたちが疑問をもてるように、
「あなたの食べるものは、にきびの原因となりうるか？」という導入の問いで始める。 H
- ・ 食品ピラミッドを紹介し、それぞれの階層の食品の具体例を示す。子どもたちはグループで、それぞれの階層の食品の写真を載せた、食品ピラミッドのポスター作りを行う。
教師は、活動中に子どもたちを観察し、アドバイスをを行う。 E, E2
- [中略]
- ・ 子どもたちは、自分の食事習慣を自己評価し、
「健康的に食べる」というゴールに向けた行動計画を立てる。 T

単元「」

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

* G. ウィギンズ&J. マクタイ（西岡加名恵訳）『理解をもたらすカリキュラム設計』日本標準，2012年，p. 30，および McTighe, J. & Wiggins, G., *Understanding by Design: Professional Development Workbook*, ASCD, 2004, pp. 226-227 を参照しつつ，中西修一郎が加除修正。奥村好美・西岡加名恵編著『「逆向き設計」実践ガイドブック』日本標準，2020年，巻末資料⑨。